

イメージバリアブル アクションサンプル例 MVP

総合目次

はじめに	1
お酒ボトルに合わせたアクションの作成方法	2
その他作品例とアクションサンプル	10

はじめに

本ソフトウェアをお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。

本ソフトウェアは簡単な操作で高品質な組版から面付けまでが行え、かつデータベースと連動した可変印刷を実現します。

Ver5 より、Photoshop を利用して、画像内のテキストに対してもテキストの可変処理が行える「イメージバリアブル」機能を実装しました。

「イメージバリアブル」はテキストの可変処理の際、Photoshop のフィルター効果も同時に与えることが可能です。

本書はチュートリアルガイド Lesson6 で利用したアクションの作成方法、及びイメージバリアブルの作品例をご紹介します。

ここで紹介する作品例のサンプルやアクション、ブラシは MVP セットアップ CD-ROM 内の

¥チュートリアル¥イメージバリアブルアクション素材.zip に置いてあります。

お酒のボトルに合わせたアクションの作成方法



イメージバリアブルの流れを「お酒サンプル」の作品例を用いて紹介いたします。

Step 1

テンプレートファイルの準備。

画像にテキストレイヤーを配置します。

Step 2

アクションの作成。

ボトルに合わせて歪ませるフィルター
効果をアクションに登録します。



Step 1 テンプレートファイルの準備。

1. Photoshop で下地となる画像を開きます。

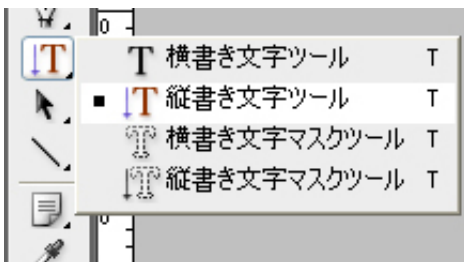
事前に下地となる画像を用意します。

ここではアクション素材の中にある「弦吉お酒_加工前.psd」を Photoshop で開きます。



2. テキストを作成します。

銘柄を縦表示するため、＜縦書き文字ツール＞を選択します。



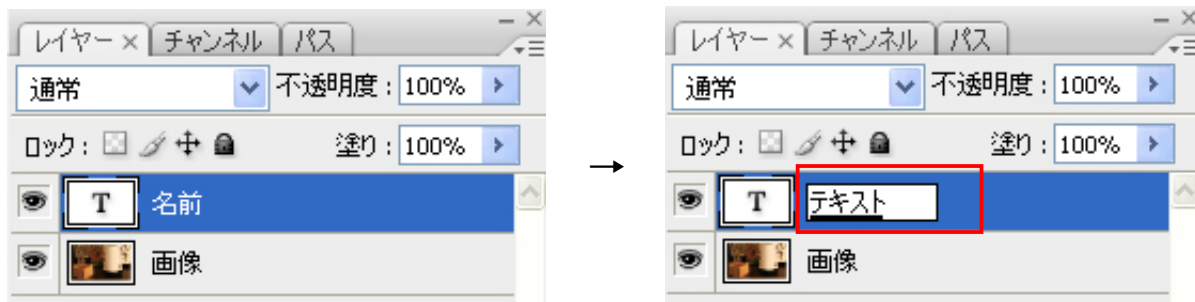
テキストを追加する範囲をマウスドラックにて範囲設定しテキストを入力し追加します。



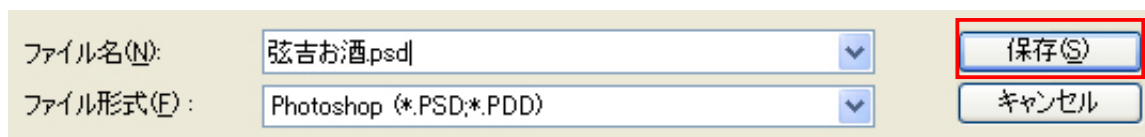
お酒のボトルに合わせたアクション作成方法

テキストのレイヤー名の名称部分をダブルクリックして「テキスト」と変更します。

- ・ここで設定したレイヤー名がイメージバリアブル処理でテキストの差し替えを行うテキストレイヤーとなります。
- ・ここで設定したレイヤー名がアクションの設定に登録されます。



3. Photoshop 画像を「弦吉お酒 .psd」 という名前を付けて保存します。



以上でテンプレートファイルの作成は完了です。

アドバイス

このテンプレートファイルを MVP のイメージバリアブルで使います。

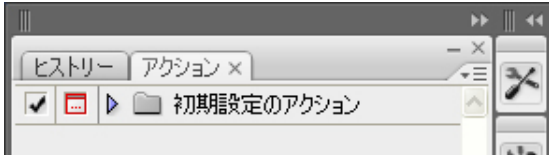
Step 2 アクションの作成。

アクションの流れ

- ・ 描画色と背景色を初期設定にする。
- ・ 瓶に合わせて文字にカーブを付ける。
- ・ 馴染ませる為にぼかしをかける。
- ・ CMYKモードに変換する。

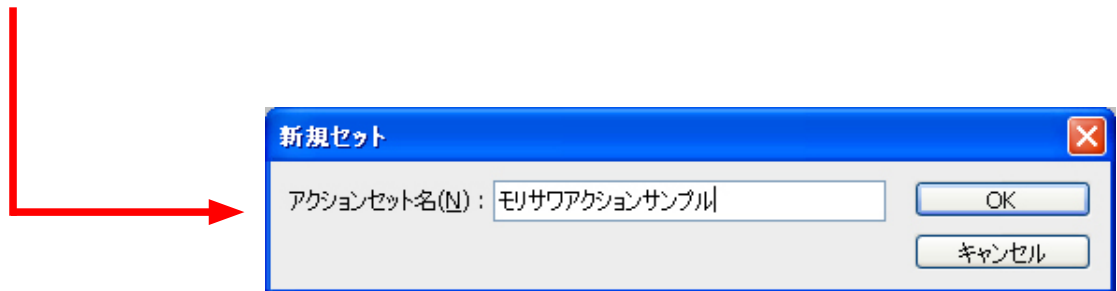
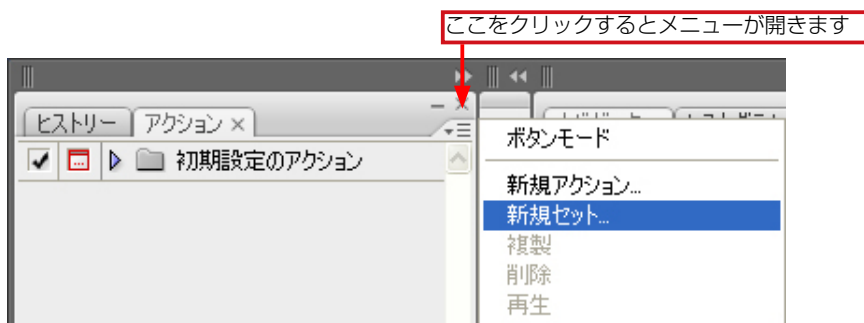
1. 「弦吉お酒 .psd」 を Photoshop で開きます。

2. Alt と F9 キーを押下し、アクションツールを開きます。

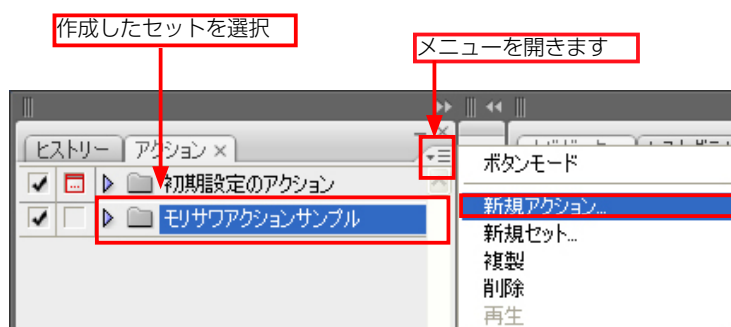


3. メニューを開いて <新規セット> を作成します。

ここでは新規セットに「モリサワアクションサンプル」を作成します。



4. 手順 3. で作成したセットを選択し、メニューを開いて<新規アクション>を作成します。



お酒のボトルに合わせたアクション作成方法

5. 新規アクションの設定をします。

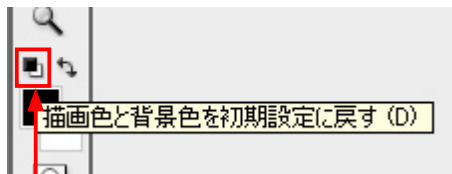
- ・アクション名を設定します①。
- ・アクションを追加するセットを選択します②。
- ・【記録】を押下し、アクションの記録を開始します③。



記録中は随時、作業がアクションの下に追記され、
記録を止めるまで続けられます。



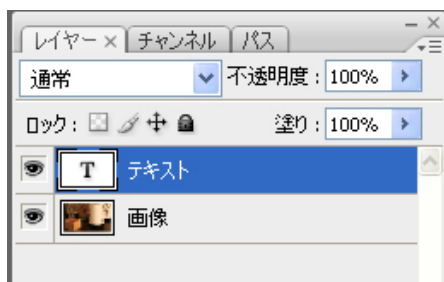
6. 描画色と背景色を初期設定（描画色：黒、背景色：白）にします。



ここを押下すると初期化されます。

7. レイヤー「テキスト」を選択します。

すでにテキストレイヤーが選択されている場合は一度「画像」を選択し、再度「テキスト」を選択してください。

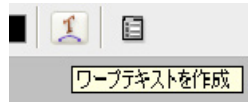


8. テキストをボトルに合わせて歪ませます。

- ・ ツールバーの「文字ツール」を選択します。

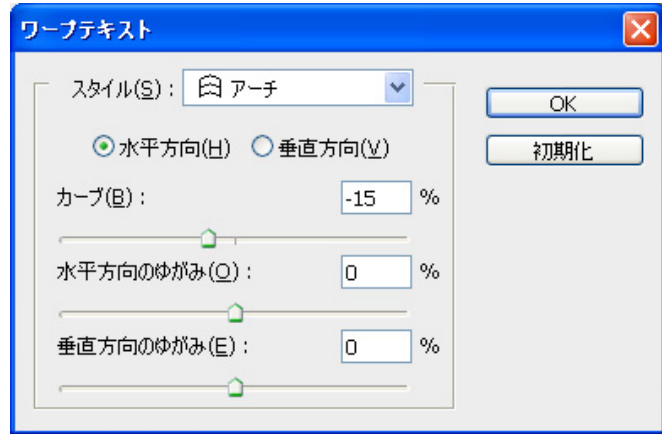


- ・ 表示されたテキストオプションの「ワープテキストを作成」を選択します。



- ・ ワープテキスト設定画面では次のように設定します。

- ・ スタイル： アーチ
- ・ 水平方向： 有効
- ・ カーブ： -15%
- ・ 水平方向のゆがみ： 0%
- ・ 垂直方向のゆがみ： 0%

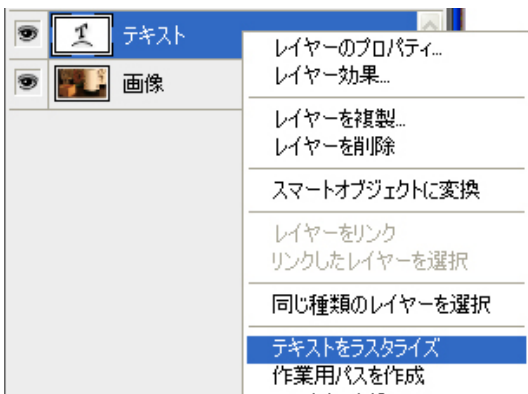


- ・ 設定を反映させるとテキストが下図のように変化します。

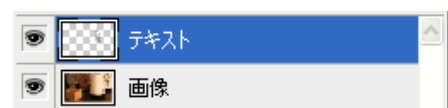


9. テキストレイヤーを画像レイヤーに変更して画像処理を施せるようにします。

- ・ テキストレイヤー上で右クリックし、＜テキストとラスタライズ＞を選択します。



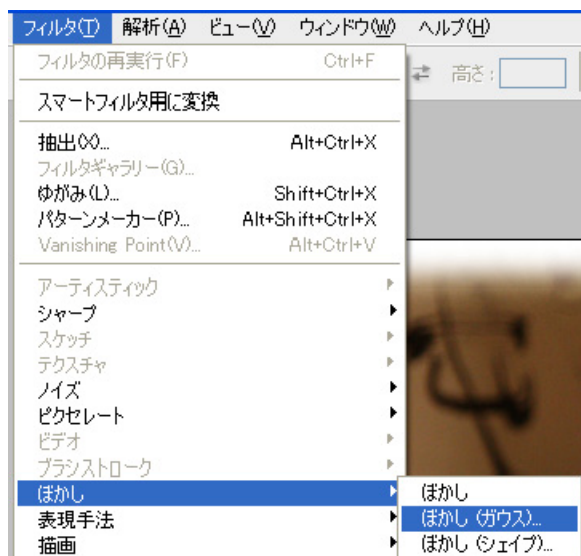
- ・ テキストレイヤーが画像レイヤーに変換されました。サムネイルが下図のようになります。



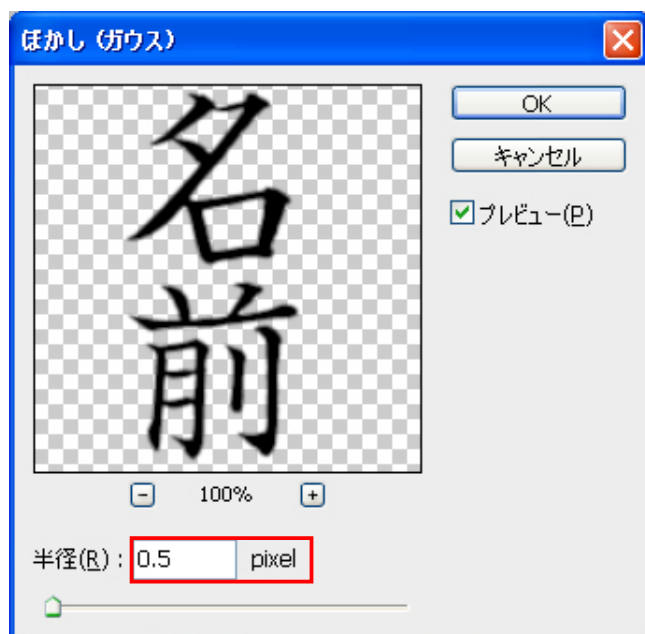
お酒のボトルに合わせたアクション作成方法

10. 文字にぼかしをかけて背景に馴染ませます。

- ・メニューバー→[フィルタ]→<ぼかし>→«ぼかし (ガウス)»を選択しぼかし (ガウス) の設定画面を表示します。

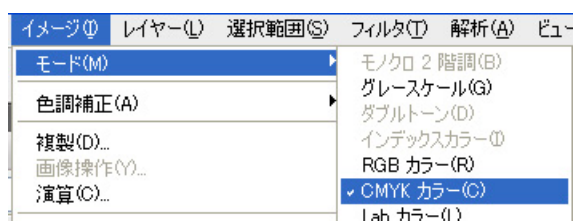


- ・ぼかし (ガウス) の設定画面にて半径を「0.5pixel」に設定します。

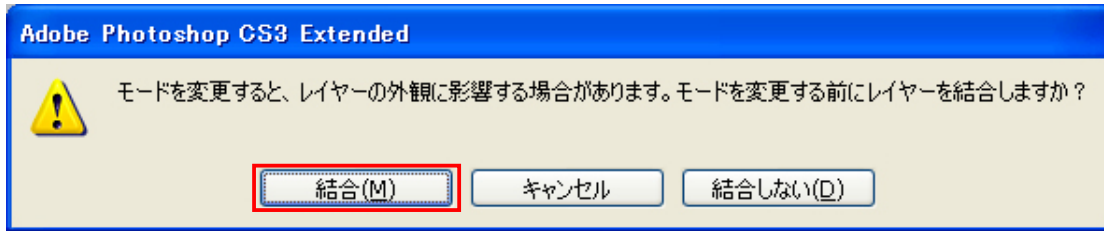


11. 画像を印刷に使えるように CMYK モードに変換します。

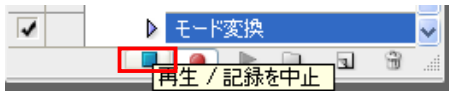
- ・メニューバー→[イメージ]→<モード>→«CMYK カラー»を選択します。



・「レイヤーを結合しますか？」の確認ダイアログが表示されます。「結合」ボタンを押してレイヤーを結合してください。



12. 【再生 / 記録を中止】を押下してアクションの記録を停止します。



以上でアクションが完成します。ドキュメントを保存せずに終了してください。

注意！

MVPでは「Step 1 テンプレートファイルの準備。」で作成したテンプレートファイルと、「Step 2 アクションの作成。」で作成したアクションファイルを用いてイメージバリエーションを処理します。

アクションの作成を行った後の状態で保存するとレイヤー情報が失われているため、MVPのテンプレートファイルとしては利用できません。

アドバイス

最初に「描画色と背景色の初期化」を実施しているのは、デザインによって描画色や背景色を変えるものがあり最初に初期化しておかないと処理がおかしくなることがあるため、その防止のために実施しています。
このサンプル画像に関しては、行わなくても影響はありません。

アドバイス

画像の加工はRGBでなければ出来ない処理が多いため、加工時にはRGBの画像を利用いただき、アクションを行った後に印刷用のCMYKに変換していただくことで高画質の印刷を行うことができます。
ただし、CMYKに画像モード変換すると色味が変化するため、必要であれば変換後に色味を調整してください。
元画像をCMYKにて加工を行った場合は画像モードの変換は不要です。

その他作品例とアクションサンプル

その他のイメージバリアブルの作品例とアクションサンプルをご用意しました。
 これらの作品を参考にし、実際のお仕事のアイデアの 1 つとしてご活用頂きますようお願い申し上げます。

注意！

アクション素材に作品例の写真は含まれておりません。お客様にてサンプルに近い写真をご用意いただきお試しください。

作品例

テキストレイヤー名

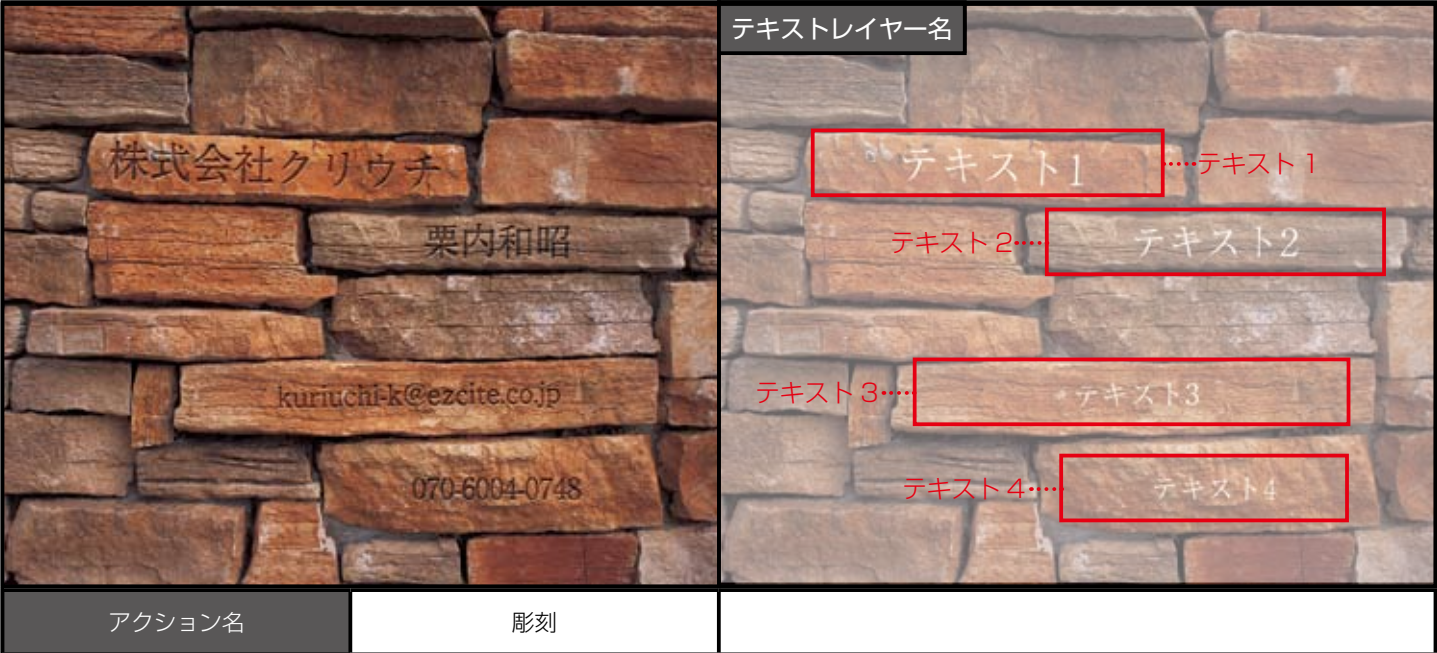
テキスト

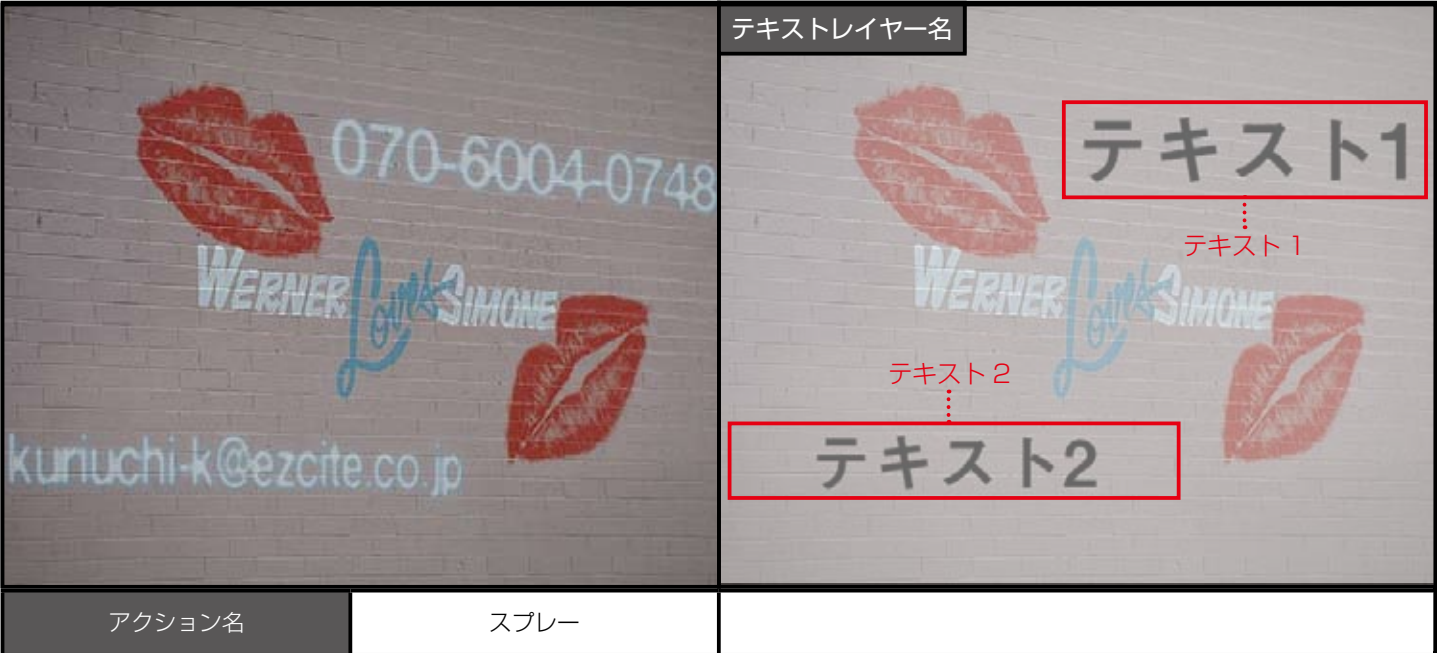
アクション名	提灯	
--------	----	--

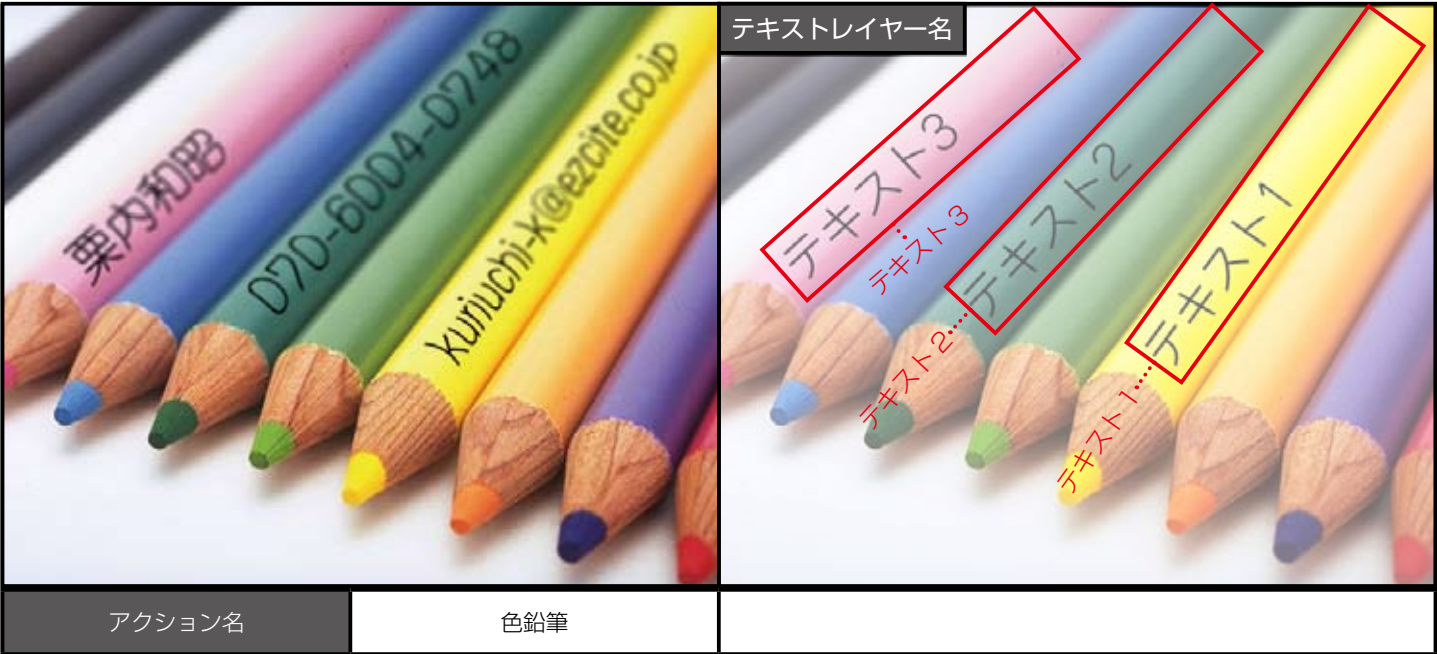
テキストレイヤー名

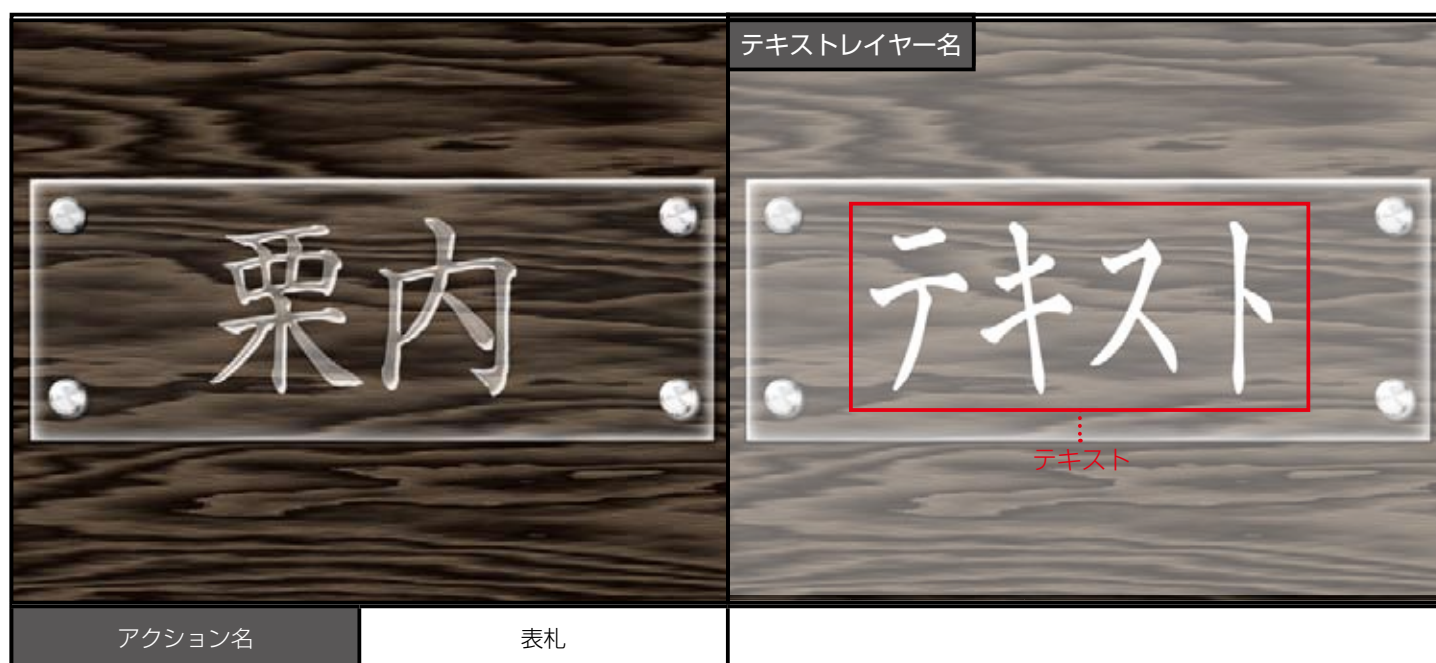
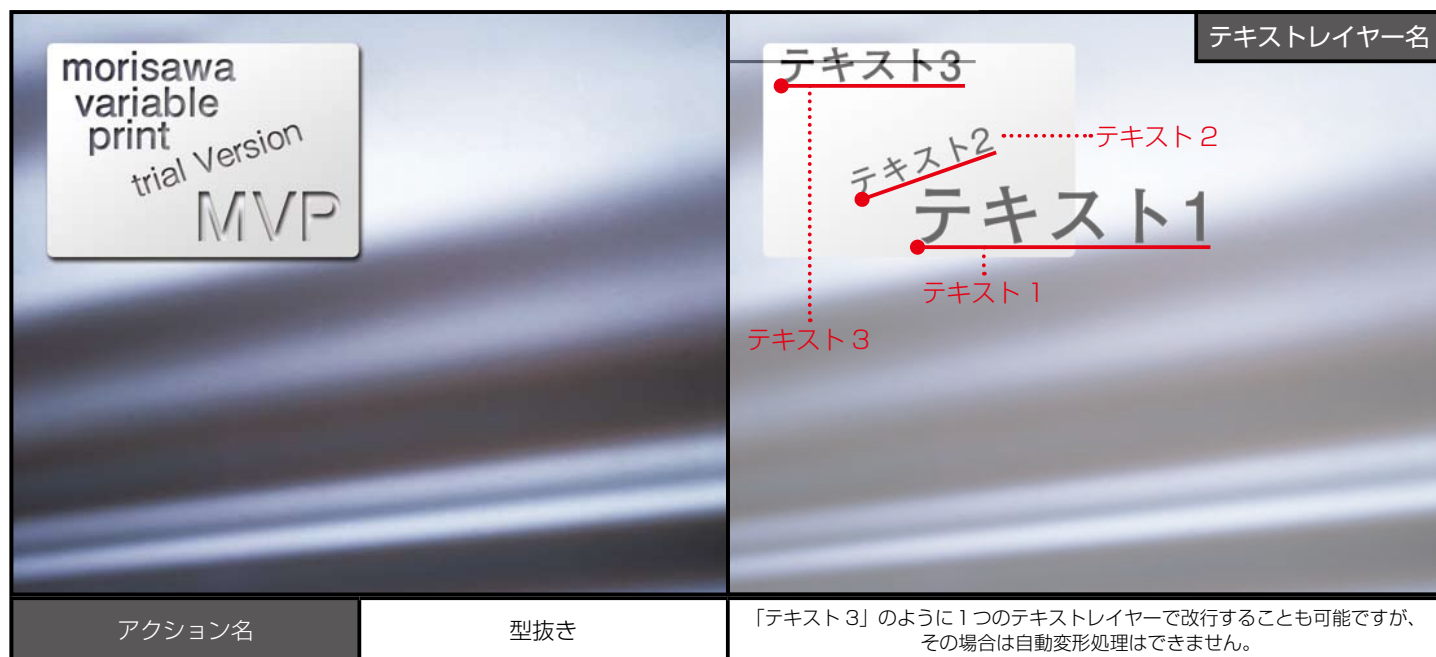
テキスト

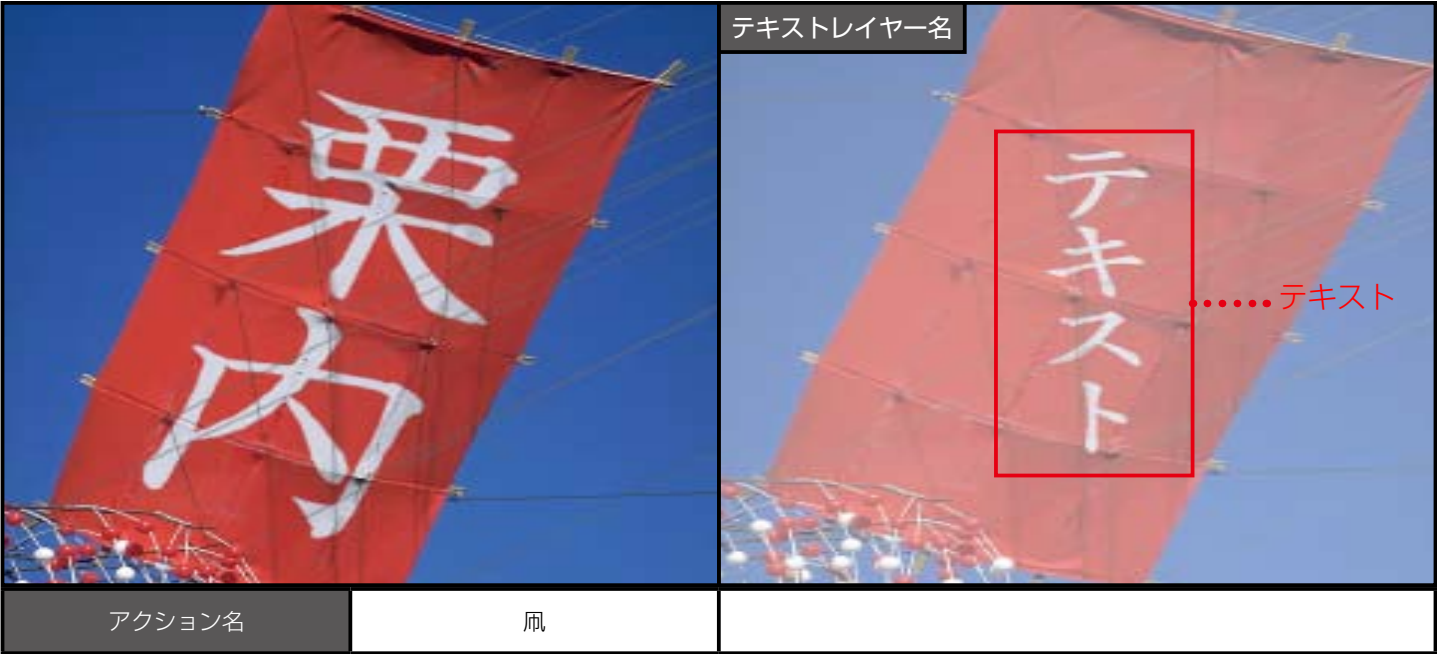
アクション名	雲	このアクションはモリサワサンプルブラシの「雲」を使用します。 あらかじめ Photoshop に読み込んでおいてください。
--------	---	--














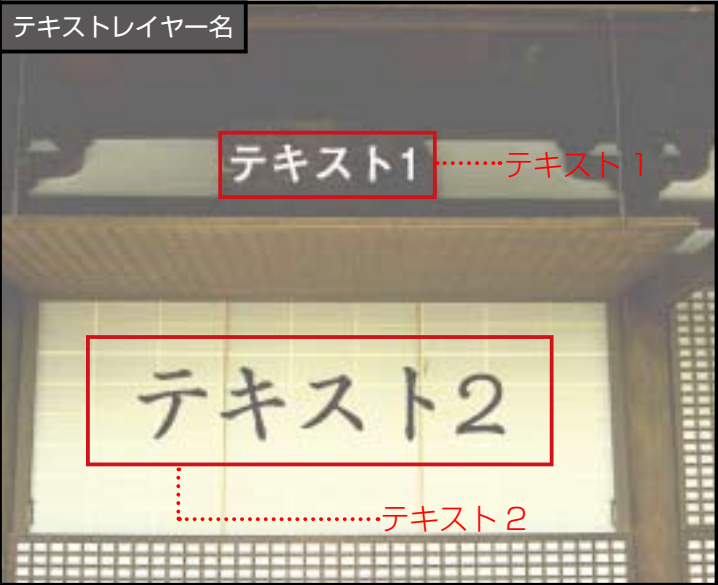

アクション名

壁

テキストレイヤー名

テキスト

テキスト

アクション名

寺

テキストレイヤー名

テキスト1

テキスト2

このアクションはモリサワサンプルブラシの「寺」を使用します。あらかじめPhotoshopに読み込んでおいてください。




アクション名

風金粉

テキストレイヤー名

テキスト